



令和7年度 菅谷中だより

Vol. 10 令和7年12月24日

自ら学ぶ生徒 (自主)
心豊かな生徒 (敬愛)
身体を鍛える生徒 (錬磨)

文責 田中 守

《今年一年の感謝と新年への期待》

師走の寒さが一段と厳しくなりましたが、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年一年を振り返りますと、生徒一人ひとりが学習や部活動、学校行事を通じて大きく成長した姿が見られました。文化祭や合唱祭では、仲間と力を合わせて取り組む姿が印象的であり、協力することの大切さを学んだ一年だったと思います。特に合唱祭での3年生の歌声は、後輩たちの良き手本となり来年度以降の良き目標となりました。また、学習面では、日々の積み重ねを大切にしながら、目標に向かって努力する姿勢が定着してきました。

冬休みは、心身を休めるとともに、これまでの学びを振り返り、次のステップに備える大切な時間です。感染症予防や規則正しい生活を心がけながら、読書や家庭学習にも取り組んでいただければと思います。

新しい年は、3学期という締めくくりの時期を迎えます。学年末テストや卒業式など、節目となる行事が控えています。生徒たちが自分の目標をしっかりと見据え、最後まで努力を続けられるよう、教職員一同、全力で支援してまいります。

保護者の皆様には、一年間温かい御支援をいただき、誠にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。皆様にとって新しい年が希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



《1年生が職場体験学習を行いました》

1年生は12月3日(水)から5日(金)の3日間(事業所によっては2日間)、町内の事業所で職場体験学習を行いました。初めての社会体験に緊張しながらも、事業所の方々に温かく迎えていただき、挨拶や礼儀を大切にしながら仕事に取り組む姿が見られました。普段の学校生活では経験できない「働く現場」に触れることで、社会の仕組みや人と人とのつながりの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

体験を通して、生徒たちは「働くことの楽しさや大変さ」「協力することの難しさ」「責任を持って行動することの重要性」を実感しました。こうした経験は、今後の進路選択や自分の生き方を考えるうえで、大きな財産になることでしょう。

今回の学習を支えてくださった事業所の皆様には、心より感謝申し上げます。生徒たちにとって、この体験は単なる「仕事をする」だけでなく、「社会の一員としての責任」や「人との関わり方」を学ぶ場となりました。これからも、この学びを学校生活に生かし、さらに成長していくことを期待しています。



《門松づくりを行いました》

12月13日(土)に本校では、PTAと地域の方々の御協力をいただきながら、毎年恒例の門松づくりを行いました。日本の正月に欠かせない門松は、古くから「年神様をお迎えするための目印」として飾られてきた伝統文化です。今回の活動では、生徒たちが竹を切り、松を組み合わせる作業を体験しました。慣れない作業に苦戦しながらも、仲間と声を掛け合い、協力しながら一つひとつの工程を丁寧に進める姿が印象的でした。こうした活動を通じて、伝統を大切にする心や、地域とのつながりの大切さを学ぶことができたと思います。

